

事務事業名		大船渡市ささえあい長寿推進協議会開催事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間	
	施策名	09 地域福祉の充実		区分	
	基本事業名	02 高齢者支援の充実		単年度繰返	
根拠法令		大船渡市ささえあい長寿推進協議会条例		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	保健福祉部長寿社会課		【開始年度】	
	課長名	佐々木 卓也		12 年度～	
	係名	高齢者福祉係	電話	0192-26-2943	
	担当者	花輪 桂子	内線	直通	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
高齢者福祉の向上及び介護保険事業の推進に関する事項について、協議会を開催する事業である。主な業務は次のとおり。 ①会議の通知(委員の招集) ②協議資料の作成 ③協議の運営 ④委員報酬の支払				E 一般	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
高齢者福祉の向上及び介護保険事業の推進に関する事項について、協議会を開催する事業である。主な業務は次のとおり。 ①会議の通知(委員の招集) ②協議資料の作成 ③協議の運営 ④委員報酬の支払				総投入量(千円)	
				事業費	国庫支出金
				財源内訳	都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
				事業費計(A)	0
				人件費	正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					トータルコスト(A)+(B)
					0
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) 3回実施した。	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 2回程度の開催予定。	ア 開催回数 回
	イ 委員出席割合 %
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 高齢者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 高齢者人口(第1号被保険者数) 人
	キ
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者福祉の充実を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 住み慣れた地域で安心して暮らしてもらう。	サ 市民意識調査で、「高齢者が生きがいを持って生活できる場や機会がある」と回答した割合 %
	シ 市民意識調査で、「高齢者が社会参加できる環境が整っている」と回答した割合 %
	ス 市民意識調査で、「介護や福祉のサービスが充実している」と回答した割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	194	162	175	200	180	120	
	事業費計(A)	千円	194	162	175	200	180	120		
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1	1	2	1	1	
		延べ業務時間	時間	130	40	20	130	40	30	
		人件費計(B)	千円	520	160	80	520	160	120	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	714	322	255	720	340	240	
⑤活動指標		ア	回	4	3	1	4	3	2	
	イ	%	78.3	67.4	100	85.7	85.7	85.7		
	ウ									
⑥対象指標	カ	人	13,238	13,168	13,012	13,173	13,100	13,040		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	%	27.1	28.1	24.0	32.0	34.0	36.0		
	シ	%	28.5	29.1	38.7	33.0	35.0	37.0		
	ス	%	39.9	37.5	25.3	45.0	50.0	55.0		

事務事業ID	0211	事務事業名	大船渡市ささえあい長寿推進協議会開催事業
--------	------	-------	----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・大船渡市ささえあい長寿推進協議会条例で規定されている事業である。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・高齢者を取り巻く環境の変化(少子高齢化、一人暮らし高齢者の増加等)により、高齢者ニーズや高齢者への対応は複雑化・多様化している。 ・当市の高齢者の要介護度は、全体として重度化への進行が抑制されている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 高齢者福祉の向上と介護保険事業の推進を目的としており、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 高齢者福祉計画・介護保険事業計画等を審議しており、当市の高齢者福祉推進に必要な機関である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 高齢者の福祉向上を目的としていることから、対象及び意図の限定、追加はしない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 委員の意見や提言が、当市の高齢者施策に反映されており、協議会としての機能を十分に果たしている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 高齢者福祉事業や介護保険事業に関して審議する場であり、公正公平な高齢者施策の推進に必要である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、委員の出席報酬と費用弁償のみであるため、事業費の削減はできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 資料作成等において事務の効率化を実施しており、人件費削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 委員は、各種団体からの推薦により選出されており、公平・公正に審議されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	継続して事業を実施する。
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	委員の委嘱や会議の招集等適切に行われており、円滑な事務執行がなされている。高齢者施策に対する関係者等の意見を反映させるための場で、介護保険の運営に欠くことのできない組織であることから、今後も適正な執行を進めていく。